

単元名 武道(剣道)

配当時間 10時間

- 単元の目標 (1) 技ができる楽しさや喜びを味わい、剣道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解するとともに、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすることができる。
- (2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己の考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) 剣道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ったり、分担した役割を果たしたり、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしようとする。

標準的な展開例

13300121_001

【準備等】竹刀、防具、手ぬぐい、赤旗、白旗、学習カード、タイマー

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 剣道の特性について知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>★剣道の特性を知ろう。</p> <p>○剣道の歴史・礼儀・作法を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史 ・立礼や蹲踞 ・竹刀の各部の名称や納め方 <p>○防具の扱い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・垂れ、胴、手ぬぐい、面の順で防具を着ける。 <p>○グループ分けをする。</p> <p>2～3 基本動作の練習をする。</p> <p>★基本動作や基本打突を身に付けよう。</p> <p>○基本動作の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構え ・体さばき <p>○基本打突の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素振り ・正面打ち ・左右面打ち ・胴打ち ・小手打ち <p>4～6 しかけ技と応じ技の練習をする。</p> <p>★相手の動きに応じた技を身に付けよう。</p> <p>○二段の技の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小手一面 ・面一胴 <p>○引き技の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き胴 <p>○抜き技の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面抜き胴 <p>7～8 グループで技の練習をする。</p> <p>★簡易な攻防をしよう。</p> <p>○既習の技を確認し、練習する。</p> <p>○グループで簡易な攻防のある練習をする。</p>	<p>・剣道は竹刀を使って、基本となる技や得意技を用いて相手と攻防を展開しながら、互いに「一本（有効打突）」を目指して相手の構えを崩して打ったり、受けたりして勝敗を競い合う運動であることを理解させる。</p> <p>・剣道の始まりについて触れる。</p> <p>・相手を直接竹刀で打つことから、相手を尊重するマナーが重要であることを理解させる。</p> <p>・竹刀の各部の名称などを確認する。</p> <p>・伝統的な行動の仕方を理解させる。</p> <p>・防具の着脱・しまい方を確実に身に付けさせる。</p> <p>・防具は正座をして着用するようにさせる。</p> <p>・4～5人編制のグループとし、単元を通して活動することを伝える。</p> <p>・技の基本となる体の動き、竹刀の動きや形を正しく理解させる。</p> <p>・段階的な指導の関連から「突き技」は扱わないようにする。</p> <p>・構えでは、相手の動きに応じた自然体で中段に構えるようにさせる。</p> <p>・体さばきでは、相手の動きに応じて歩み足や送り足をするようにさせる。</p> <p>・竹刀の動きや形を正しく理解させる。</p> <p>・素振りでは、発声・竹刀さばきを同時に行うようにさせる。</p> <p>・正面打ちが打突の仕方の基本となるため、段階的に習得させる。</p> <p>・受け方では、面打ちをした生徒が進みやす体さばきを意識させる。</p> <p>【評】基本動作や基本打突の練習に取り組む活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・しかけ技は、二段の技、引き技を、応じ技では、抜き技を扱うようにする。</p> <p>・二つの技の連続ではあるが、一本一本を確実に打ち込ませる。</p> <p>・最初の打ち込みに対して隙ができたところへ次の打ち込みをするようにさせる。</p> <p>・はじめはゆっくり行わせ、慣れるに従ってスピードを上げるようにさせる。</p> <p>・相手と接近した状態から始めさせる。</p> <p>・竹刀のつばとつばが触れ合った状態から、送り足で、後方あるいはななめ後方へ退きながら打突するようにさせる。</p> <p>・相手の面を打つときに、体をかわして胴を打つようにさせる。</p> <p>・相手の小手を打つときに、体をかわして面を打つようにさせる。</p> <p>【評】しかけ技や応じ技の練習を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・対人での練習を通して、技の動きを正しく行えるようにさせる。</p> <p>・基本動作や基本となる技のポイントを確認させながら、練習をさせる。</p> <p>・気付いたことを学習カードに記入させる。</p> <p>【評】技の練習やグループでの話し合い活動を</p>

<p>9～10 簡単な試合をする。 ★一本を取ろう。</p> <p>○ルールを確認する。 ○試合をする。</p> <p>○単元のまとめをする。</p>	<p>通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合者は、立礼をして前進し、剣先が触れるところで蹲踞する。 ・「はじめ」の合図で開始させる。 ・一本を目指して、積極的に技をかけるよう助言をする。 ・仲間の試合を観察し、よいところを認め合ったり、助言し合ったりさせる。 <p>【評】試合を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・感想の発表や自己評価などをさせる。</p> <p>【評】活動を振り返り、まとめをする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】単元全体の活動や試合で評価し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
---	--

【 備 考 】
 剣道では、基本動作や基本となる技を確実に身に付け、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に対応した攻防ができるようにする。また、伝統的な行動の仕方を守ることなどに意欲をもち、健康や安全に気を配るとともに、礼に代表される伝統的な考え方を学ぶようにさせる。